

令和7年度 2025年9月～2026年3月

新潟県立近代美術館

コレクション展

9月9日(火)～12月7日(日) [前期:～10/26(日)、後期:10/28(火)～]

第3期

親と子のワクワク美術館 ちょっとこわ～い絵

展示室1

一度見たら忘れられないような怖いものや、何か得体のしれないものが描かれている絵。そんなゾクゾク、ドキドキするような作品を紹介します。想像力を働かせながら、子どもから大人までちょっとこわ～い絵を楽しんでみましょう。

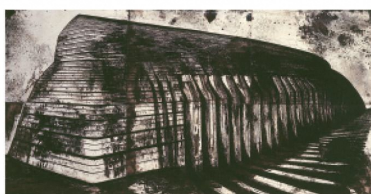


橋本龍美《お化寺》1975年

近代美術館の名品 —1990年以降の作品から—

展示室2

当館所蔵の名品から1990年以降に制作された現代美術を紹介します。

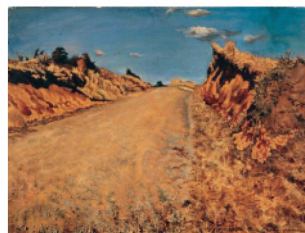


山口啓介《水路—王の方舟》1990年

教科書とかで見たかも —みんな知ってるあの作家—

展示室3

学校の授業で名前を聞いたり、図画や美術の教科書・資料集などで見たことのある作家の作品を紹介します。写真でしか見たことなかったもの、名前しか知らなかった作家の名品をぜひ間近でご覧ください。



岸田劉生
《冬枯れの道路
(原宿附近写生)》
1916年

同時開催の企画展 9月13日(土)～12月7日(日)
「オバケ?」展

12月16日(火)～2026年2月15日(日)

第4期

近代美術館の名品

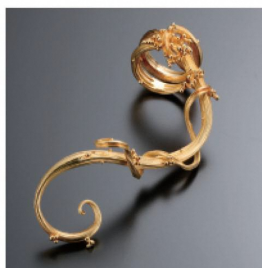
—新収蔵品を中心に— 展示室1

当館の名品と令和6年度に新たに収蔵した作品を紹介します。

WATER

—水のすがた— 展示室2

私たちの命や生活に深く関わる“水”。水は、自然の中では海や川、気象現象としては雨や雪、霧など、様々な表情を見せてくれます。また作家たちは、水を美しく抽象化して表現します。所蔵品の中から、描かれた多様な水の姿を紹介します。



3代 宮田藍堂《美豆波乃女》
1980年頃

没後10年 久保田成子 展示室3

新潟市出身の美術家・久保田成子(1937～2015)は1964年に渡米し、前衛芸術運動フルクサスに参加。その後はビデオという新しいメディアを取り入れ国際的に活躍しました。新収蔵の資料類を中心に、久保田の活動を振り返ります。



渡米前の久保田成子 1964年頃
Courtesy Shigeko Kubota Video Art Foundation

2月28日(土)～5月31日(日) ※予定

第5期

近代美術館の名品 展示室1

当館の所蔵品から名品を選びすぐて紹介します。

立体・彫刻の楽しみ 展示室2

見る位置や角度によってその表情が変わることが、立体・彫刻作品の大きな魅力の一つです。また、材質による表情の違いもその見どころでしょう。様々なかたち、材質の作品が並ぶ展示室で、平面作品とは異なる「見る楽しみ」を味わってください。



細野實《雲の標》2002年

没後10年 久保田成子 展示室3

※第4期から引き続き開催します。

同時開催の企画展

2026年3月7日(土)～5月24日(日) ※予定
描く人、安彦良和

主催 新潟県立近代美術館

後援 長岡市、長岡市教育委員会

開館時間 9:00～17:00 ※チケットの販売は16:30まで

観覧料 一般430円(340円) 大学・高校生200円(160円)

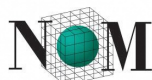
※中学生以下は無料です。

※企画展観覧券をお持ちの方は、当日に限りコレクション展の観覧料が免除されます。

※()内は有料20名様以上の団体料金です。

※大学生・高校生は受付で学生証をご提示ください。

※障害者手帳をお持ちの方は観覧料が免除されます。受付で手帳をご提示ください。



THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART
新潟県立近代美術館

〒940-2083 新潟県長岡市千秋3丁目278-14
TEL 0258-28-4111 FAX 0258-28-4115
URL <https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

作品解説会

申込不要 要コレクション展観覧券 14:00～14:30 会場:コレクション展示室

9月27日(土)、12月6日(土)、1月10日(土)、2月7日(土)、3月14日(土)

当館学芸員がコレクション展示室で作品についてわかりやすく解説します。

対話型鑑賞

申込不要 要コレクション展観覧券 10:30～11:00 会場:コレクション展示室

9月27日(土)、10月11日(土)、11月15日(土)、12月27日(土)

当館学芸員と参加者がコレクション展示室で対話しながら作品を鑑賞します。



美術鑑賞講座

申込不要 参加無料 定員165名 14:00～15:30 会場:講堂 ※会場に直接お越しください。

10月25日(土) 新潟の童画家たち—川上四郎と落谷虹児—

講師:池田珠緒(当館専門学芸員)

長岡市出身の川上四郎(1889～1983)と新潟市出身の落谷虹児(1898～1979)は共に大正・昭和の子ども向けの雑誌や絵本で長く活躍しました。二人の残した同時代の仕事を比較しながら、当時の子どもをめぐる世相の一端をご紹介します。

11月15日(土) 幽霊?お化け?日本美術にみる怪異表現

講師:飯島沙耶子(当館主任学芸員)

日本の美術には、幽霊やお化けをはじめ、様々な怪異な存在が描かれてきました。現実には目に見えない、得体のしれないものをどのように表現してきたのでしょうか。中世の絵巻物から浮世絵まで、その様相を紹介します。

企画展関連講座

申込不要 参加無料 定員165名 14:00～15:30 会場:講堂 ※会場に直接お越しください。

9月20日(土) 「オバケ」って何?

講師:藤田裕彦(県立万代島美術館 専門学芸員)

「オバケ」とは具体的にどんなものを表しているのでしょうか。「オバケ?」展に関連して本講座では「お化け」を日本と西洋でどのように捉えてきたのか、その系譜について鳥山石燕『百鬼夜行』や旧約聖書、ギリシア神話、北欧神話等を起点として、現代のモンスターまでたどります。



ワークショップ

申込不要 高校生以上は要コレクション展観覧券
随時開催

9月9日(火)～12月7日(日)

親と子のワクワク
オリエンテーリングコレクション展示室で、作品にまつわるワークシートを
解きながら、親子で楽しく展覧会をめぐる。
いつでもどなたでもご参加いただけます。

親子ふれあいデー

9月20日(土)、10月11日(土)、11月22日(土)、
12月20日(土)、1月10日(土)、2月14日(土)、
3月14日(土)中学生以下の子を同伴する保護者のコレクション展
観覧料が無料になります(子ども一人につき保護者
2人まで)。企画展は対象外です。
同日に展示室内で声の大きさを気にせず鑑賞をお楽
しみいただける「おしゃべりタイム」を実施します。
小さなお子様連れでも気兼ねなくご来館ください。「みちくさプレイス」を
ご利用ください。2024年11月、美術館ロビーに「みちくさプレイ
ス」がオープンしました。子どもから大人まで、
展覧会鑑賞やイベントの前後に自由にご利用い
ただけます。
絵本やパズルなども用意していますので、どう
ぞお気軽にお立ち寄りください。

交通案内

[新幹線・在来線]JR長岡駅下車

[バス]長岡駅大手口8番線:中央環状線「くるりん」内回り「県立近代美術館前」下車(乗車約15分)すぐ／

長岡駅大手口2番線:センタープラザ・日赤病院方面行き「日赤病院前」下車(乗車約15分)から徒歩5分

[車]関越自動車道:長岡I.C.から約10分／北陸自動車道:長岡北S.I.C.から約10分

THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART
新潟県立近代美術館

〒940-2083 新潟県長岡市千秋3丁目278-14

TEL 0258-28-4111 FAX 0258-28-4115 URL <https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>